



第464号

2026年 3月

〒461-0004
 名古屋市東区葵2丁目6-35
 カトリック名古屋教区広報部
 電話 (052) 935-2223
 FAX (052) 935-2254
 news@nagoya.catholic.jp
 印刷所 株式会社 荒川印刷
 毎月第1日曜日発行

2026年

聖年の恵みを受けて、すべての人の
 幸せと世界の平和を祈ろう。

教区ホームページ

福音のひびき

3月の説教者

- 1日 四旬節第2主日
シユエ・ルイ・ジュン (鳴海教会)
- 8日 四旬節第3主日
伴 八郎 (南山教会)
- 15日 四旬節第4主日
ナジ・エデルベルトウス (恵方町教会)
- 22日 四旬節第5主日
早川 努 (名古屋教区)
- 29日 受難の主日
ピリスブッレ・ジュード (豊橋教会)

新成人と共に祝う 教区新年の集い



新成人たちと共に

新しい年を迎え、今年も恒例の新成人と共に祝う教区新年の集いが、布池教会大聖堂で1月18日に行われた。

ミサに先立って、能登半島地震復興支援報告会が、カリタスのとサポーターセンター長の片岡義博神父によって行われた。ちょうど2年前の元旦の夕方起こったこの大地



報告する片岡神父



説教中の松浦司教

は、ほぼ去年のうちに終わり、更地となったが、この更地に、これから新しく家を建てていかなければならない。そして復興作業が長期化する中、仮設住宅からの退去を言われるが、そこに住む約6割の人々は、その後の生活の目的が立っていない。被災地の人々は「一番つらいのは、忘れられていくことだ」と言う。これからは何が必要なのか、特に精神面での支えを考えていかなければいけない。

次に片岡神父は、輪島と七尾ベースで働く、濱野洋一郎さん(東京教区出身)、梁良我さん(春日井教会出身)、吉田勉さん(東京教区出身)の3人を紹介した。彼等はカフェを開いて人々と語り、交流の場を持つことの大切さを語ってくれた。また新年に「私たちの祈り」の集いのライブ配信を行ったが、今

後も続けていきたい。能登地方だけでなく愛知、岐阜の人々とも一緒に行いたい意向を示した。そして、まだまだ長期化するであろう支援活動のために、ベースでの活動を増やしていく予定なので、ボランティアの大募集をしている、是非参加してほしいと、強く訴えた。

また、教皇レオ14世の新年のメッセージのテーマ「武器のない平和、武器を取り除く平和に向けて」ととりあげ、暴力に打ち勝つには神の優しい心、すなわち「平和」しかない。小さな弱い姿で飼い葉桶に眠る平和そのものである幼子イエスを思い起こし、この社会に踏み出していこう、と新成人に呼び掛けた。



聖遺物への献香



高山右近(絵画)



浅井神父の講演

神の正義を体現した人生を紹介

福者ユスト高山右近殉教者

金沢で記念ミサと講話

福者ユスト高山右近殉教者記念ミサは2月7日、カトリック金沢教会で行われ、北陸ブロックの信徒50人が、神の正義を体現した高山右近の信仰、生き方に思いを馳せ、祈りを捧げた。

ミサは名古屋教区殉教者顕彰委員会委員長の浅井太郎神父ら3人の司祭の共同司式で行われた。浅井神父は入堂後、聖堂小祭壇に安置された高山右近の聖遺物に献香した。説教で

「高山右近は神の正義を体現した生涯を送った」と述べ、誠実な人柄、茶道を大事にした独特の武士道など、右近特有の信仰について語った。

浅井神父は「高山右近は神の正義を体現した生涯を送った」と述べ、誠実な人柄、茶道を大事にした独特の武士道など、右近特有の信仰について語った。

「高山右近は神の正義を体現した生涯を送った」と述べ、誠実な人柄、茶道を大事にした独特の武士道など、右近特有の信仰について語った。

浅井神父は「高山右近は神の正義を体現した生涯を送った」と述べ、誠実な人柄、茶道を大事にした独特の武士道など、右近特有の信仰について語った。

第51回 名古屋越冬炊き出しに参加して

1975年の年末に、名古屋駅周辺で11人の日雇労働者が餓死・凍死をしたことから始まった越冬炊き出しは当初は名古屋教区センターでござり・味噌汁を作った運んだそう。

今では「ささしま共生会」として福信館で作り、年末、年始だけではなく月曜日・木曜日の炊き出し・夜回り等多くの「共に生きる為の活動」をしている。

越冬実行委員会は、12月28日から1月4日の片付けまでの間、大津橋公園にて野宿労働者に食事・寝る場所・居場所を提供し生活や健康の相談に対応する。越冬実行委員会とささしま共生会とは密接な関係で、以前から担当を決めて夕食を運んでいた。ルーテル・聖公会・名炊会・カトリック・日本キリスト教団で担う中でカトリックは年

末の30・31日を担当していた。近年31日はブラジル共同体がブラジル料理を振舞ってくれている。私は、10年という短い期間だが30・31日と関わらせてもらい感じるの、利用者は確実に減っているということだ。というのも名古屋市の交際の支え合う活動はここから必要だと再考した。



浅井神父司式での殉教者顕彰ミサが予定されていることが九里彰神父より報告された。

④ダイヤモンド・金・銀祝のミサ等準備の進捗状況について、対象司祭は金祝3名、銀祝1名、修道者・奉獻生活者はダイヤモンド祝5名、金祝4名、銀祝3名であること、3月20日(金・春分の日)14:00にミサ、その後の茶話会 担当は濃尾ブロックであること、また先回の評議会にて提案された「召命のつどい」は来年度以降に考えていくこと、ミサの始めに終身助祭候補者2名の認定式が行われることが秋元助祭より報告された。

⑤カ障連全国大会(2026年11月14日・15日)について、各小教区への募金、Tシャツ販売、ポランテア募集を随時呼びかけるため、訪問中であること、目標募金金額40万円に達していないため、再訪問を考えている(2026年4月以降)ことが平出孝氏より報告された。

2025年度

第3回 教区宣教司牧評議会概要

2026年2月1日(日)午後2時より布池教会地下ホールにおいて今年度第3回教区宣教司牧評議会が開催され、松浦信司司教をはじめ、教区事務局、宣教司牧評議会事務局、各ブロック代表、司教任命信徒など29名が出席し、またオプ

ザーパーとしてカリタスのとサポートセンターよりセンター長の片岡義博神父と職員の前野洋一郎氏が参加した。

【報告事項】
①12月28日(日) 聖家族の日にカトリック布池教会司教座大聖堂にて松浦司教司式により9時半の

出来る場所が提供されるようになってきた事や、地理的に不便であり、他にも炊き出しを行う団体が出てきたという要因が考えられる。炊き出しの要らない社会を目指している私達にとってそれは喜ばしい事ではあるが、そこに温かい心があるのか、差別的な視線はないかということやお互いに人として生きていくための支え合う活動はここから必要だと再考した。

福信館での活動は、社会構造の歪みから生まれた弱者に寄り添うエキューメンカルな働きだが、どこも高齢化と人手不足が悩みだ。だから、勇気を出してポランテアを体験してみたい。カトリックは毎週木曜日が食事作り・配食、金曜日が洗いの担当である。月火はプロテスタントが担当である。勿論どちらも大歓迎間違いなしで、皆の参加を待っている。(福信館炊き出しポランテア)

新成人と共に祝う「教区新年の集い」について、それに先立って13時より行われた能登震災復興状況についての報告と復興支援推し活グッズの販売の報告と新成人(二十歳)8名の参加があったことなどが秋元伸介助祭より報告された。

②2月7日(土)の高山右近殉教者顕彰ミサの進捗状況について、ミサ前の10時からの浅井太郎神父による講演と11時から

この度、水原教区の青年が急きよ、2月6日に名古屋に来ることになり、追加の補正予算申請があり、また、2026年度委員会補助金決定額ならびに宣教司牧評議会予算額についてこちらも承認された。

②8月平和旬間の取り組みについては、教区行事であるため、宣教司牧評議会のイニシアチブが大切なので、宣司評委員より2名を選び、彼らを中心に実行委員会を立ち上げ、他のメンバーは各小教区に書面で一般募集をすることに決定した。

③能登支援の取り組みについて片岡神父からの提案で、のサポートセンターでは毎月1日の震災時間に合わせて「ついたちの祈り 追悼の祈り」の集いを続けており、発心の薄れているように思うので、教区全体として「ついたちの祈り 追悼の祈り」ができないかと考え、手始めに2月1日豊橋教会で「ついたちの祈り 追悼の祈り」の集いをした。毎月1日を各ブロックに振り分け、実施する小教区をブロックで決定し、宣司評事務局に報告することなどが決まった。

④5月24日の合同堅信式について、松浦司教より「名古屋教区合同堅信式ミサについて」及び予備調査票兼申込書を2月中旬に送付を予定し、小教区に於いてはその諸対応を以下の通りお願いしたいこと、堅信の準備等は各

小教区で行うこと、堅信証明書は各小教区作成、受取者に渡し、堅信台帳の記入は各小教区で行うこと、当日、堅信記念品などは教区で準備し、受取者に渡すことが提案され、承認された。

⑤各グループでの分かち合いを「聖年の振り返り・新年度の新しい歩み」というテーマで行い、聖年指定教会へのバス巡礼などを計画、温かく受け入れて歓迎され、楽しい分かち合いが出来たこと、初めての訪問教会、初めて出合いのなかでも、皆ひとつにミサを捧げ、祈ることができた喜びがあった。受入れ側の意見としては、なかなか全てに対応が出来なかった、もう少し呼びかけて分かち合いが出来ればよかったと思う。多国籍になった今、日本のおもてなしに少し戸惑い、教え、それぞれの立場での理解も必要で、コミュニケーションの大切さを感じたなどの意見があり、それを受けて、新しい歩みについては多国籍の信徒たちと交流を強化したいとの声があった。

⑥その他世界祈禱日について、平松富男氏より毎年3月第一金曜日に開催の「世界祈禱日」は、これまで窓口となっていた信徒使徒協働協議会が活動休止になるため、来年度からの窓口を考えてほしいという問い合わせを受け、一旦教区事務局が資料等受け取り、今後協議することとした。

①メンバー(当事者をたんなるでは「こう呼ぶ」へ地域での生活の援助提供のモデル化・継続的支援・メンバーの価値の発見・発信

②アシスタント(援助者)の価値の発見・自己表現・相互関係

そしてメンバーを人としてみるのが大切であると島氏は強調する。

又、たんぼぼはパンフレットに協力機関としてラルシユ及び静岡ラル

「道草」から たんぼぼへ

昨年1月に行われた名古屋教区正義と平和委員会主催による「道草」上映会の続きとして今年1月27日「重度障がい者への意思決定支援」と題してNPOたんぼぼ理事長の島牧人氏を迎えて福信館にて学習会があった。

「たんぼぼ」は障がい福祉サービスを目的とした「場所」である。

サービス内容は1. デイサービス。2. 安心して自宅で生活する事が出来るようサポートする。3. 自宅で介護する人に何かあった時、当事者(介護される側)が短期的に入所できる所。4. 相談・支援の計画をする所。

そしてこの活動での核の一つが障害者の意思決定を大切にするという事だそうである。島さんは言う。たんぼぼの目指すものは

①メンバー(当事者をたんなるでは「こう呼ぶ」へ地域での生活の援助提供のモデル化・継続的支援・メンバーの価値の発見・発信

②アシスタント(援助者)の価値の発見・自己表現・相互関係

そしてメンバーを人としてみるのが大切であると島氏は強調する。

又、たんぼぼはパンフレットに協力機関としてラルシユ及び静岡ラル

シユ。かなの家をあげている。障がいの有無、助ける、助けられる、の関係を超えて「人生を分かち合う」コミュニケーション。皆様に「かなのせつけん」でお馴染みかもしれない。ラルシユかなの家では知的障がいのある仲間と農作業をしたり、石鹸作りをしているが「たんぼぼ」では対象とする障がいがある学習会の限られた時間では想像が及ばない事の方が多いかもしれないが、先ずは知ることからである。

最後に「自閉症の僕が跳びはねる理由」で注目を浴びた東田直樹君の言葉を紹介する。

「気持ちや伝えられないことでは、心がなにかいことではありません。周りの人がさせたがっていることが、本人のやりたがっていることだとは限らないのです。そのことを忘れないで下さい。」

正義と平和委員会
小西和子





ゲマインダハウス 「青空の家」の紹介

2026年1月10日、松浦悟郎司教が名古屋市守山区にある青空の家(社会福祉法人ゲマインダハウス、知的障害者施設)の新年の集い、成人式に出席した。会場の食堂には、利用者、父母、地域の公職者・役員等約100名の参加者があった。初めに松浦司教の挨拶があり、新年会は利用者

によるトーンチャイムの演奏から始まり、どん舞の太鼓が披露された。成人式では新成人から、両親に花束贈呈があり、大変喜ばれた。司教は、利用者や父母、地域の公職者・役員、ミヤンマーから働きにきている3名の職員等と交流し参加者と記念撮影をした。信者の利用者から、「悟郎ちゃ

ん」と親しく声をかけられて微笑んでいた。新年の集い終了後、黒木理事長と渡邊理事の案内でグループホームの施設を見学した。はじめての施設訪問で、「にぎやかな会場で皆さんとお会いできてよかった」との感想があった。青空の家は、1971年愛の実行運動による知的障害者の施設作りから始まった。愛知県コローニーで出会った人々が、カトリック膳棚教会でスタートしたのがきっかけであった。1993年に知的障害者の施設として法人の認可を受け、現在3つの福祉サービスを行っている。

①「青空の家」約30人が生活介護を受けている通所施設
②「ケアホームあおぞら」12人が共同生活をするグループホーム
黒木信之(青空の家理事長)

寄付先 郵便振込み口座 00890-9-191456
振込み先 社会福祉法人ゲマインダハウス

〈カルメル修道会日比野修道院企画〉 【一日静修の集い】お知らせ

日時 4月11日(土) 10:00~15:00
講話担当 松田浩一神父(カルメル修道会)
テーマ 十字架の聖ヨハネにおける「美の道」についての考察
スケジュール 講話①、ご聖体顕示、昼食、講話②、ミサ、茶話会
参加費 無料(自由献金をお願い致します)
どなたでもご自由にご参加ください。
持ち物 昼食(各自持参)
問い合わせ 日比野修道院(052-671-1003)

第一次 人事異動のお知らせ

- ③「相談支援事業所あすん」と親しく声をかけられて微笑んでいた。新年の集い終了後、黒木理事長と渡邊理事の案内でグループホームの施設を見学した。はじめての施設訪問で、「にぎやかな会場で皆さんとお会いできてよかった」との感想があった。
- 青空の家は、1971年愛の実行運動による知的障害者の施設作りから始まった。
- 愛知県コローニーで出会った人々が、カトリック膳棚教会でスタートしたのがきっかけであった。1993年に知的障害者の施設として法人の認可を受け、現在3つの福祉サービスを行っている。
- ①「青空の家」約30人が生活介護を受けている通所施設
- ②「ケアホームあおぞら」12人が共同生活をするグループホーム
- 黒木信之(青空の家理事長)
- ③「相談支援事業所あすん」社会福祉法人ゲマインダハウスの名前は「イエスがなさったように悩み苦しむ人、悲しむ人、孤独な人のそばに寄り添いつつ、イエスの福音を伝える」ために、ドイツから来日した神言修道会のゲオルグ・ゲマインダ神父に由来する。ゲマインダ神父は、聖マリア在俗会や愛の実行運動の創設者でもある。青空の家の創始者のひとりに聖マリア在俗会の中根貞美(故人)がいた。中根氏は「人が好き、人が大事、共に生き、生かされてをモットーに、神からいただいた生涯をこの施設のために捧げた。青空の家は、これからも、地域の人々の支援により、利用者の安心、安全な施設をめざしている。青空の家の健全な運営のために支援をお願いする。」
- 城東フロック *恵方町教会
- 小教区管理者 レラ・ヨハネス神父(通称ジョン) SVD
- *膳棚教会 主任司祭 伊藤大有神父
- *東山教会(名東教会) 主任司祭 鄭有岳神父(居住は小牧教会)
- 助任司祭 ルカ・ベンゾ神父(居住は東山教会) MEP
- *南山教会 助任司祭 グエン・ニヤット・パン神父(通称ニヤット) SVD
- 城北フロック *小牧教会 主任司祭 鄭有岳神父(共同宣教司牧から主任司祭へ)
- 助任司祭 ルカ・ベンゾ神父
- *押切教会 主任司祭 平田政信神父(共同宣教司牧から主任司祭へ)
- *守山教会 主任司祭 椎尾匡文神父
- 愛岐フロック *高蔵寺教会 小教区管理者 サン・ティアゴ・エドガルド・ジュニア・ラアガス神父(通称デインド) SVD管区長
- 濃尾フロック *津島愛西教会 主任助祭 早川和彦終身助祭
- 三河フロック *岡崎教会 主任司祭 ナジ・エデルベルトウス神父(通称エディ) SVD
- 参考) SVD(神言修道会) MEP(パリ外国宣教会) *モルルク・フランシスクス・アシジ神父(岡崎教会主任)は東京大司教区へ異動
- その他お知らせ *早川努神父(津島愛西教会主任)は、正義と平和委員会他担当(主税町記念聖堂居住)
- *寺尾總一郎神父(膳棚教会主任)は司教館へ
- 月1日より(M.S.C)聖心布他教区、その他異動 *敦賀教会主任司祭であったクマル・アフアリ・アルン神父は、サバティカルでオーストラリアへ
- *熱田教会主任司祭であった山内信行神父は4月末日をもって東京大司教区へ
- その他 *港教会の聖アウグスチノ修道会の修道院にフィリピン人司祭、クリスチャン・E・フンタナレス神父とジャン・マーク・A・プラシド神父が来られ、現在日本語を勉強しておられる。生活が落ち着いたら、フィリピン人のためにミサの協力ができるとのこと。

第二次 人事異動のお知らせ

オリーブの会

《こころのおしゃべりカフェ》

オリーブの会とは、精神の疾患、障害などで、生きづらさを持つ人たちが集い、日々の苦労や気付きを分かち合う集まりです。カフェスタイルで気楽に参加してみませんか。

日時 4月19日(日) 午後2時~4時
場所 みこころセンター 2階C教室
〒460-0002 名古屋市東区丸の内3-6-43
アクセス 地下鉄名城線・桜通り線 久屋大通り駅下車 ②番出口より北へ徒歩5分
参加費 無料(こちらでお茶とお菓子を用意します) 前もっての連絡はいりません。ご家族、どなたでも自由にご参加ください。
連絡先 カリタス福祉委員会 ☎052-852-1426
担当 浅井綾子
主催 カトリック名古屋教区障害者連絡会

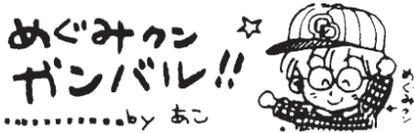
名古屋教区2026年度『黙想会・研修会』プログラム

1、【1泊2日の宿泊黙想会】—キリスト教的ヴィパッサナー瞑想会

日程 2026年4月24日(金)~4月25日(土)
時間 初日14:00(13:45までにお越しください)~翌日16:00
担当司祭 柳田敏洋師(イエズス会司祭)
会場 川名山研修の家 〒466-0827 愛知県名古屋市昭和区川名山町56
交通 名古屋市営地下鉄鶴舞線いりなか駅1番出口より徒歩2分
食事 初日の夕食から翌日の昼食まで用意します
対象 キリスト教的ヴィパッサナー瞑想の経験のない方や宿泊黙想会の経験のない方
どなたでも参加できます
申込先 新谷栄子 ☎050-5897-5106 E-mail: inori.nagoya@gmail.com

2、【日帰り黙想会】—キリスト教的ヴィパッサナー瞑想会(初心者向け)

日程 2026年5月23日(土)
時間 10:00(9:45までにお越しください)~16:00
担当司祭 柳田敏洋師(イエズス会司祭)
会場 川名山研修の家 〒466-0827 愛知県名古屋市昭和区川名山町56
交通 名古屋市営地下鉄鶴舞線いりなか駅1番出口より徒歩2分
食事 昼食をご持参ください
対象 キリスト教的ヴィパッサナー瞑想の経験のない方や宿泊黙想会の経験のない方
どなたでも参加できます
申込先 新谷栄子 ☎050-5897-5106 E-mail: inori.nagoya@gmail.com



3月 教区行事予定 (*松浦司教)

1日(日) 性虐待被害者のための祈りと償いのミサ(五反城教会)

3日(火) 城南B司牧者会議

6日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日*

8日(日) 城東B会議/三河B会議

9日(月) 城北B司牧者会議

10日(火) 難民移住移動者委員会/樹の会

14日(土) 神言会助祭叙階式*(神言の会)

19日(日) 愛岐B会議

21日(火) 難民移住移動者委員会/カトリック看護協会例会

25日(土) 正義と平和委「定例会」/レジオ・マリエ「名古屋クリア」/教区典礼研修会

29日(水) 祝殉教者祭(金沢卯辰山)* /殉教者委「浦上キリシタン流配者のためのミサ」

教区行事以外の松浦司教予定

3月・4月の予定はありません

4月の主な教会暦(主日・祭日など)

2日(木) 聖木曜日・主の晩餐の夕べのミサ

3日(金) 聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金 聖土曜日

4日(土) 復活の主日(祭)

5日(日) 復活の主日(祭)

12日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

19日(日) 復活節第3主日

26日(日) 復活節第4主日 世界召命祈願の日

1日(水) 聖香油ミサ*

11日(土) 典礼委員会コアミーティング/殉教者委定例会

14日(火) 樹の会

16日(木) 顧問会、月集*

18日(土) レジオ・マリエ「名古屋クリア」

22日(日) 教区学校教師会

26日(木) 顧問会*

28日(土) 教区法人評議員会*

3月の教会暦

1日(日) 四旬節第2主日

6日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日

8日(日) 四旬節第3主日

15日(日) 四旬節第4主日

17日(火) 日本の信徒発見の聖母(祝)

19日(木) 聖ヨセフ(祭)

22日(日) 四旬節第5主日

25日(水) 神のお告げ(祭)

29日(日) 受難の主日(枝の主日)

15日(日) 神学院

16日(月) 城北B会議

17日(火) のと視察*/カトリック看護協会例会

20日(金) 祝ダイヤモンド・金・銀祝ミサ・終身助祭候補者認定式*

21日(土) 名古屋教区司教座聖堂献堂記念日/正義と平和委「学習会」・定例会/教区障害者の黙想会/レジオ・マリエ「名古屋クリア」

21日(土) 名古屋教区司教座聖堂献堂記念日/正義と平和委「学習会」・定例会/教区障害者の黙想会/レジオ・マリエ「名古屋クリア」

建設費の返済に協力を

697件 38,135,661円
目標額 40,000,000円 (2026年1月末日現在)

達成率 約95.3%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福信館建設」と必ずご記入ください。



告知板

◇3月の炊き出し

木5日布池、12日ひまわり・南山・樹の会、19日聖霊・南山・樹の会、26日城北橋

金6日喜望の会、13日恵方町、20日布池、27日長浦

お知らせ
教区典礼研修会「典礼に生きるみ言葉」

昨年ミサ典礼の全体構造などを教えていただき、今回はもう少し詳しく知りたいとの声がありました。そこで、今回のテーマは、典礼暦年とミサの前半部分、「ことばの典礼」についてです。信徒がミサの中で奉仕する部分として、朗読奉仕や先唱奉仕に関わることが多くあると思います。日頃、典礼奉仕、先唱奉仕に関わっておられる方のみならず、ミサのことをもっと知りたいと思われる方ならどなたでもご参加ください。

講師 嘉松宏樹神父 (長崎大教区司祭)

日時 2026年4月25日(土) 13:30~15:30 (*受付は13時より)

場所 布池教会地下ホール

アクセス 地下鉄東山線 新栄駅下車 徒歩5~6分 または桜通線 車道駅下車 徒歩7~8分

対象 どなたでもご参加できます。

問合せ先 sakimoto@nagoya.catholic.jp ※布池教会には問い合わせしないでください。

2025年度 正義と平和委員会 学習会のお知らせ
第6回「死刑制度」

講師 浅野幸治 (正平委委員、豊田工業大学特任准教授)

今回は、最近の冤罪事件の話と、死刑制度とは一体何なのか、何のために刑罰はあるのか、といった原理的な話とをします。具体的な例から始めて、本当に死刑制度が必要なのかを考えてみたいと思います。

日時 2026年3月21日(土) 午前10時30分~12時00分

会場 福信館2階 (名古屋市東区葵2-6-29、布池教会東)

地下鉄東山線新栄駅から徒歩8分、桜通線車道駅から徒歩8分、JR中央本線千種駅から徒歩9分 誰でも参加できます。自由にご来場ください。



聖年の恵みに応えて
片岡神父と行く 五島・外海・出津巡礼
沈黙のなかに神の臨在に気づき、感じ取る旅

日程 2026年5月25日(月)~28日(木) 3泊4日
概算旅行代金 (2名様1室・20名様以上) 195,000円 (税込み)
その他詳細について、小教区へポスター掲示 お申込み・詳細はこちら▶



カトリック名古屋教区
ダイヤモンド・金・銀祝ミサのお知らせ

日時 2026年3月20日(金・祝) 14:00~ (茶話会あり)

場所 名古屋カテドラル 聖ペトロ・聖パウロ大聖堂

2026年 お祝いの方々

2026年司祭叙階 ダイヤモンド・金・銀祝

金祝
櫻本 好美神父様 (コンベンツァル聖フランシスコ修道会)
ミッション・ジョイ神父様 (聖心布教会)
熊川 重也神父様 (神言修道会)

銀祝
メレ・ステファヌス・ウニバルダス神父様 (神言修道会)

2026年修道者・奉獻生活者

ダイヤモンド祝
Sr.ユリア大里 良子 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.アウグスティナ福原 タツイ (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.サビエンツィア小山 友江 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.マリーマドレーヌ左美三 千織 (ドミニコ会)

金祝
Sr.アポリン・モーニス (幼き聖マリア修道会)
ルチア大山 きよ子 (聖マリア在俗会)
Sr.ラウレンツィア佐藤 志つ枝 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.マリーヨゼフ三野 紀恵 (ドミニコ会)

銀祝
Sr.グラツィア村木 あゆ芽 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.マリークリスティナ西尾 節子 (聖霊奉持布教修道女会)
Sr.イルマフィデス 金 福丹 (聖霊奉持布教修道女会)

※このミサの中で終身助祭候補者認定式が行われます。

聖香油ミサのお知らせ

日時 2026年4月1日(水) 10時30分~

場所 名古屋カテドラル 聖ペトロ・聖パウロ大聖堂